

しせき
史跡

かつ こう づか
郭公塚

(所在地) 海老江四丁目一八―一六 南桂寺境内

【碑文】

郭公塚



明治初年の夏、住職が朝のお勤め後、怪我で苦しんでいる一羽の鳥を発見し、傷口を膏藥で塗り、布を巻いて手当をした。元気を取り戻した鳥の一声でホトトギスとわかり、村中から人が集まり門前に出店ができた。その後、見物人の中の、この鳥を奪って一儲けしようとした浪人により殺されてしまった。村人は住職の筆になる「郭公塚」を建立して霊を弔った。以後南桂寺を「ホトトギス寺」というようになった。寺には郭公の遺骸と史料が残されている。

